

徳島大学総合科学部社会創生学科3年の藤田千晶です。こんにちは。徳島で生まれ育ってきた私の大学生活についてご紹介させていただきます。今は就職活動中で人生の分岐点にいます。今回は、大学に入ってから自分史にスポットをあててみようと思います。私の生活は大学を通して、外にもアンテナを張る生活を送っています。

キャンパスライフの三本柱として、勉強・経験・コミュニケーションを大切に生活してきました。社会創生学科を自ら選択した理由も、実際に自分の慣れ親しんだ環境はどんなものなのか知りたかったからです。小学生の頃からアナウンサーさんの存在に注目し、言葉の魔術師になることが夢で、楽しさを共有することがモットーで、私は、○○の人とレッテルのようなものに囚われたくなく、常に個人として1年の頃から名刺を作成し、名前を憶えていただく努力をしてきました。



総合科学部 社会創生学科3年  
藤田 千晶 (ふじたちあき)



ラジオの収録現場



ニューヨークでホテルのガードマンさんと

My Life Situation

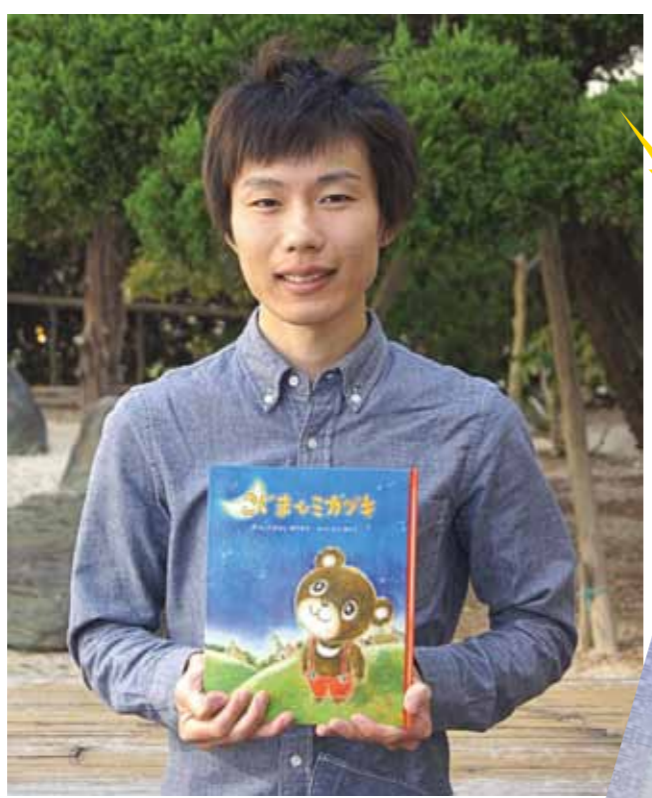
ラジオネーム: ちゃき  
サークル: 徳島県内4大学合同放送サークル「メガフェブス」  
バイト: ドラッグストアの店員、出身高校の模試監督  
イベントのMC & 運営スタッフ、家庭教師(一時期)、結婚式の配膳  
研究室のお手伝い、ゆるぎやら  
好きなもの: 食べること、しゃべること、遊ぶこと

活動のきっかけとなったのが、フィールドワークを取り入れた一般教養の授業です。1・2年の頃はテストにレポートにアルバイトにと、大学外の課外活動を両立することが困難になりそうな時もありました。しかし、課題のレポート提出を達成しようとしたときに様々な出会いをイベントの中で経験しました。1人1人にストーリーがあって、人が輝いている瞬間を目にできて、伝えさせてほしいと思ったんです。「イベントMCに興味があります。」と社会人

の方にポロッと言葉をこぼすと、「じゃあやってみる？」と予想していた以上に簡単にチャンスを提供いただきました。今では、出会った方と交換した名刺は600枚を超えていましたが、不思議なことに9割以上の方は今も交流してくださっています。「チャンスの神様は前髪しかない」と尊敬する方からご教授いただき、大学生の融通のきく時間をどう彩っていくのか、まだわくわくしています(笑) 授業やアルバイトも手を抜きたくなくて、つまり、欲張りなんです。

地域を見つめる専門性から、徳島を分析するうちに徳島が好きになり、そして、そのきっかけを与えてくれる大学が好きです。実は、「よくtalk」の項目について改善案を出す授業も経験しています。「よくtalk」には大学生活をどう築けるかの多様性が詰まっていますので、実は毎回読んで、次の行動の参考にしています。

徳大生 大活躍!



子どもから 大人まで 楽しめるものを

総合科学教育部 地域科学専攻  
博士前期課程 2年  
高橋 佑輔 (たかはしゆうすけ)

高橋さんの作品には、同じく絵画部門で最優秀賞を受賞したというゆりこさんが絵をつけて絵本となり、3万冊が全国の小児科医院や図書館などの公共施設に贈呈されています。書店で市販されないのが残念ですが、「日本新薬子ども文学賞」のホームページでオンラインで読むことが出来ます。高橋さんは、軽音楽部に所属して、ギターやボーカルを担当するだけでなく歌詞も制作。文章を書くのが好きで、「音楽も好きですが、最近は書くのも好きになりました。普段から思いついたら書きとめています。長い文章は苦手ですが、子どもから大人まで読んでもらえるようなものを書いていきたいです」今回も書きためてあった中からヒントを得て、作品に仕上げて応募しました。社会に出てもマイペースで書き続けたいそうです。

日本新薬子ども文学賞  
ホームページ  
<http://kodomo-bungaku.jp/index.html>

高橋さんは、日本新薬株式会社が2009年に創設した「日本新薬子ども文学賞」で、昨年(2012年度)の第4回公募の物語部門、応募数1427点の作品から最優秀賞を受賞しました。初めての応募でした。

健やかな「こころ」の成長への貢献を目的として、当社創立90周年を記念し創設したものです。(日本新薬子ども文学賞ホームページより) 高橋さんの作品は『こぐまとミカヅキ』。昼寝をしていたツキノワグマのこどもが目覚ますと、胸のミカヅキがとびだしていった

しまい、こぐまのミカヅキさがしが始まる、というストーリーです。審査員である岡信子(絵本・童話作家)さんは、「普段、身近にありすぎて大切さを忘れてしまっている。何か。その尊さを問いつける美しいファンタジーです。好きでも嫌いでもなかった胸の三日月模様が、とっぜん逃げ出すと



写真提供 / 日本新薬株式会社